

Panasonic®

取扱説明書 IC レコーダー

品番 RR-XS355

安全上のご注意

準備

基本操作

応用操作

パソコンと接続

その他



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P27, 28) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

本機の特長

録音する

PCM（リニアPCM）でCDにせまる高音質の録音ができます。
ズーム録音機能を使うと前方の音を強調すると共にノイズを低減して録音することができます。
また、録音シーンを選ぶだけで、そのシーンにぴったりの録音設定になります。

聴く

- 周りの音を聞き取りやすくする集音機能
- 語学学習に便利なシャドーイング再生やインデックス機能
シャドーイングを体験するための練習用コンテンツを用意しております。
詳しくはP24をご覧ください。
- ノイズを軽減するノイズキャンセル
- 録音レベルの差による音量差を少なくする音声レベル自動調整機能
- 好みの音質に調整するイコライザー
- MP3音楽ファイルの再生
- 本機以外のパナソニック製ICレコーダーで録音した録音ファイルの再生に対応
(RR-XR320、RR-XR330を除く：2013年8月現在)

タイマーで録音する

指定した時刻に録音することができます。

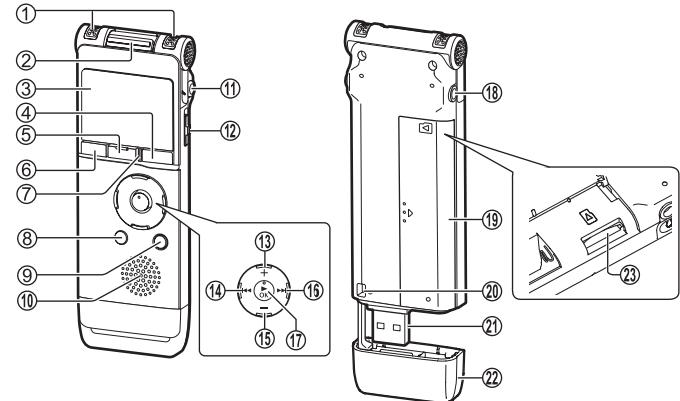
パソコンと接続して使う

- USB端子を装備
- 録音／音楽／データファイルの移動や整理をする

オートパワーオフ機能

使わないで一定時間が経過すると自動的に電源が切れ、電池の節約になります。(P4)

各部の名前



- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ① 内蔵マイク | ⑬ + (音量) ボタン |
| ② ズーム / ステレオ切り替えスイッチ | ⑭ ▶◀ (早戻し) ボタン |
| ③ 表示部 | ⑮ - (音量) ボタン |
| ④ 録音 ● ボタン | ⑯ ▶▶ (早送り) ボタン |
| ⑤ 停止 ■ / 戻るボタン | ⑰ ▶ OK ボタン |
| ⑥ メニュー / - 集音ボタン | ⑱ ヘッドホン端子 (Ω) |
| ⑦ 録音 / 動作表示ランプ | ⑲ 電池 / SDカード挿入部ふた |
| ⑧ フォルダボタン | ㉐ ストラップ取り付け穴 |
| ⑨ 消去 / A-B ◇ ボタン | ㉑ USB端子 |
| ⑩ 内蔵スピーカー | ㉒ USB端子ふた |
| ⑪ マイク / ライン端子 (i) | ㉓ SDカード挿入部
(⑯を開けた状態) |
| ⑫ 電源 / ホールドスイッチ | |

・イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品の確認



□ 単4形アルカリ乾電池 (1本)

- 2 ● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (P27、28)

準備

本機の特長	2
付属品の確認	2
各部の名前	2
電池を入れる	4
電源を入れる / 切る	4
ホールド機能	4
画面表示	5
時計を合わせる	5
ファイルとフォルダについて	6
フォルダを選択する	6
マイクポジションを切り替える	6

基本操作

録音する	6
再生する	7
ファイルを消去する	8

応用操作

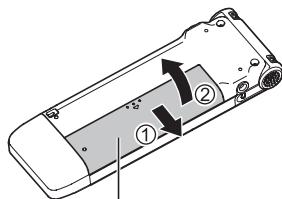
録音シーンを選択する (録音シーンセレクト)	8
録音モードを選択する	9
マイク / ライン感度を切り替える	9
録音中の低域ノイズを抑える (Low Cut フィルタ)	9
無駄な録音を防ぐ (VOS 設定)	10
指定した時刻に録音する (タイマー録音)	10
外部マイクを接続して録音する	11
本機から他機器へダビングする	11
他機器を接続して本機に録音する	12
インサイドホンで聴く	12
集音機能	13
インデックス機能	13
繰り返し再生 (リピート設定)	14
再生速度を変更する	14
位置を指定して再生 (時間指定サーチ)	14
A-B リピート再生	15
シャドーイング再生	15
聞き取りやすくする / 好みの音質で再生する	16
ノイズキャンセル / 音声レベル自動調整 / イコライザ	16
SD カードを使用する	16
本機で音楽を聴く (MP3 音楽ファイル)	17
ファイルを分割する	18
共通設定	18
操作音 (音声ガイド) / 録音 LED (録音 / 動作表示ランプ) / フォーマット	

パソコンと接続

本機をパソコンに接続する	19
ファイルをパソコンに取り込む / 整理する	19
本機に音楽ファイルを転送する	19
ファイル名について	20
パソコンの動作環境	20
本機のフォルダ構造	21
その他	
Q&A (よくあるご質問)	21
こんな表示が出たら	21
故障かな!?	22
仕様	25
商標について	26
お手入れ	26
保証とアフターサービス	29
さくいん	31
保証書	裏表紙

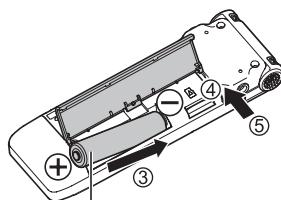
電池を入れる

ふたを開ける（①②）



電池 / SD カード挿入部ふた

電池を入れ、ふたを閉める
(③④⑤)



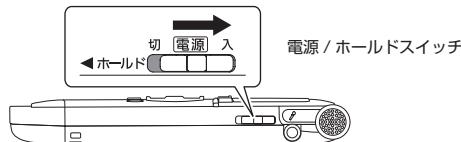
単4形アルカリ乾電池（1本）
④と⑤を確認！

- 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

初めて電池を入れたときや電池交換したときは、時計の設定を行ってください。
(P5)

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチを [入] 側にスライドさせると電源が入り、表示部が点灯します。



初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。(P5)

■電源を切るには

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを [切] 側にスライドせます。

■オートパワーオフについて

停止状態で 30 分間経過すると自動的に電源が切れます。

電源 / ホールドスイッチが [入] の状態で電源が切れている場合に再び電源を入れるには、電源 / ホールドスイッチを [切] 側にスライドさせてから電源を入れてください。

本機の動作中、電池残量が表示されます。



- 電池残量がなくなると「」が点滅します。お早めに電池を交換してください。
- 電池が切れると、「Lo bAT」と表示されたあと、自動で電源が切れます。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけますことがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れことがあります。
- ファイル消去 (P8)、ファイル分割 (P18)、フォーマット (P18) の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が「」(点滅) のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源が切れます。
- 電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。
 - ・データが失われることや本機の故障につながることがあります。

ホールド機能

ホールドにすると、操作を受け付けなくなります。

ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けないので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。

■ホールドにするには

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを [ホールド] 側にスライドせます。

“*On Hold*” が表示されてホールド機能が働きます。

ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。



■ホールドを解除するには

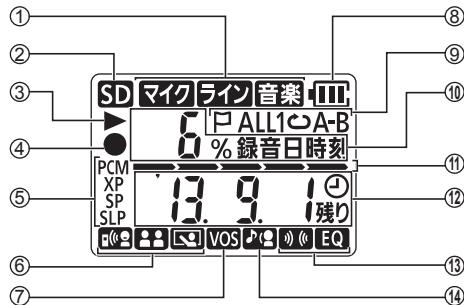
電源 / ホールドスイッチを [ホールド] と反対側にスライドさせます。

“*Off Hold*” が表示されてホールド機能が解除されます。



画面表示

画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。



- ① フォルダの種類 (P6)
- ② SD カード選択 (P16)
- ③ 再生中 (P7)
- ④ 録音中 (P7)
- ⑤ 録音モード (P9)
- ⑥ 録音シーン (P8)
- ⑦ VOS 設定 (P10)
- ⑧ 電池残量 (P4)
- ⑨ インデックス (P13)、
リピート (P14)、
A-B リピート再生 (P15)
- ⑩ ファイル番号 (P7、20)、
再生速度 (P14)、各種情報

- ⑪ レベルメーター
目安を表示します。
 - 再生時の再生位置
 - 録音時の録音レベル (P7、12)
 - 停止時の録音残り時間の表示で
メモリー残量
- ⑫ 録音残り時間 (P7)、日時 (P5)、
タイマー (P10)、各種情報
- ⑬ 音質効果 (P16)
 - ノイズキャンセル
 - 音声レベル自動調整
 - イコライザー
- ⑭ シャドーイング再生 (P15)

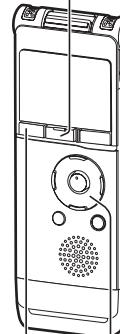
時計を合わせる

お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。

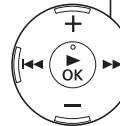
時計はファイル名 (P20) や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。電池を交換したときは、日時設定が必要です。



戻る



メニュー
-集音



- 電源を入れておく。(P4)

- お買い上げ後、初めて電源を入れた場合や電池を交換した場合は、手順 ③ へ進んでください。

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “日時刻” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “yy” (年) を設定し、
▶▶I を押す

西暦の下 2 衞に設定してください。
(2013 年なら「13」)



④ +、- で “MM” (月) を設定し、▶▶I を押す

⑤ +、- で “dd” (日) を設定し、▶▶I を押す
・前の設定項目に戻るには、◀◀I を押します。

⑥ +、- で時刻表示方法を選び、▶▶I を押す

24 時間表示は “24h”、
12 時間表示は “12h” を選択します。
・点滅している項目が、選んでいる表示方法です。

⑦ +、- で時刻の「時」を設定し、▶▶I を押す

⑧ +、- で時刻の「分」を設定する

設定を変更するには、◀◀I、▶▶I で項目を移動し、再度 +、- で設定してください。

⑨ 分の項目で [▶ OK] を押す

日時が設定され、時計動作を開始します。

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

- 設定した日時を確認するには、「再生する」の「情報を確認する」(P7) をご覧ください。
- 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
- 電池が消耗し切った状態になると、時計動作は停止します。



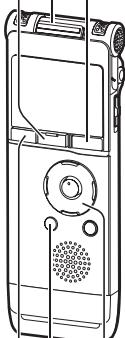
停止



戻る

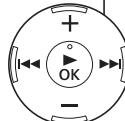
ズーム /
ステレオ切り
替えスイッチ

録音 ●



メニュー

- 集音



ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを1つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- マイク録音用の“マイク”フォルダ
- 本機に接続した他機器から録音したファイル用の“ライン”フォルダ
- 音楽用の“音楽”フォルダ（P17）

“マイク”、“ライン”フォルダには最大199ファイルまで録音できます。フォルダは内蔵メモリー内に作成されています。SDカード※（P16）を挿入した場合は、SDカードにも同様のフォルダが作成されます。

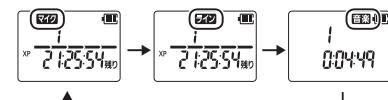
* microSD/microSDHCカードを本書では「SDカード」と表記します。

●本機の電源を入れたあと、初めて“音楽”フォルダを選択すると、録音／動作表示ランプが点滅し、画面に“[HE] [K]”と表示されます。

フォルダを選択する

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。

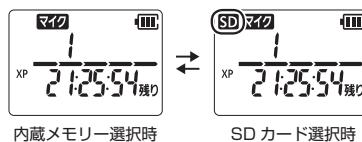
① [フォルダ] を押す



SDカード選択時は、画面に“SD”が表示されます。（下記）

■内蔵メモリーとSDカードを切り替える

[フォルダ] を約1秒以上押したままにすると、内蔵メモリーまたはSDカードに切り替わります。



マイクポジションを切り替える

マイクポジションをZOOM（ズーム）に切り替えると、前方の音を強調すると共にノイズを低減して録音することができます。

用途に応じてズーム / ステレオ切り替えスイッチで切り替えてください。

マイクポジション	効果と用途
STEREO (ステレオ)	全方向ステレオマイクの機能です。会議や大人数での演奏など広い範囲の録音に適しています。
ZOOM (ズーム)	前方を強調する機能とノイズ低減の機能です。講義やインタビューなど特定方向の録音に適しています。

- 録音中はマイクポジションを切り替えないでください。意図した録音の特性が得られません。
- マイクポジションの機能は内蔵マイク使用時に働きます。外部マイクを接続して録音（P11）する場合や、他機器を接続して本機に録音（P12）する場合は働きません。
- 録音モード（P9）が“SLP”の場合、ZOOM機能は働きません。

録音する

上手に録音するために

本機は高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風が当たると風切り音として録音されたり音声が聞き取りにくくなる場合があります。

- 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。
- 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。



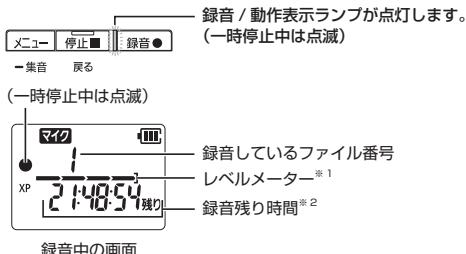
Low Cut フィルタ（P9）を使うと低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

録音する（続き）

- 電源を入れておく。(P4)
- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。
- マイクポジションを選んでおく。(P6)

① 【録音 ●】を押す（録音開始）

押すたびに 一時停止 ⇄ 録音再開



*¹ レベルメーターが振り切れて “OVER” が表示される場合は録音する音声が大きすぎます。音が最も大きくなった場合でも、“—”の表示が4つまでになるよう、録音先からの距離や向きを調整してください。

*² 録音または録音一時停止中に【メニュー / - 集音】を押すと、録音残り時間表示と録音経過時間表示が切り替わります。

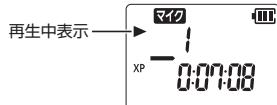
停止する：【停止 ■ / 戻る】を押す

- 必要に応じて録音モードやマイク / ライン感度を変更してください。(P9)
- 録音シーンに対応したおすすめの録音設定を、一括で呼び出す機能があります。(P8)
- 録音中のファイルサイズが2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間(2秒程度)の内容は録音されません。
- 録音中、本機を手でこすったり手が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。
- やり直しのできない大切な録音をするときは、試し録音しておくことをおすすめします。
- 内蔵メモリーやSDカードの使用状況によっては、録音時(特にPCM録音時)に音とびが発生することがあります。一度フォーマット(P18)してから録音することをおすすめします。

再生する

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。
- フォルダを選択しておく。(P6)
- ファイルを選択しておく。(下記)

① ▶ OK] を押す（再生開始）



停止する：【停止 ■ / 戻る】を押す

最後に再生したファイルとその停止位置を記憶しています。

ファイルの選択

- ◀◀、▶▶で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。



再生 / 停止中の操作

とび越し（スキップ）：◀◀、▶▶を押す

ファイルの途中で◀◀を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約2秒以内に◀◀を押します。

・インデックスのあるファイルのスキップ操作についてはP13をご覧ください。

早戻し / 早送り（サーチ）：再生中に◀◀、▶▶を押したままにする

音量を大きくする：+ を押す 音量を小さくする：- を押す

0から20までの間で調整できます。(お買い上げ時は12 “VOL +”)
音量が17以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は16に設定されます。

情報を確認する

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。

① 【停止 ■ / 戻る】を押す

【停止 ■ / 戻る】を押すたびに、以下の表示内容に切り替わります。

“マイク” / “ライン” フォルダの場合

録音残り時間 / 現在時刻 / 録音日 *1 / 録音時刻 *1 / 総再生時間 *1 /

“STEREO” (STEREO) *2

“音楽” フォルダの場合

総再生時間 / 現在時刻 / “STEREO” (STEREO) *2 / 録音残り時間

*¹ 再生可能なファイルがない場合は表示されません。

*² ステレオのファイルの場合に表示されます。



ファイルを消去する

不要なファイルを消去します。消去すると元に戻すことはできません。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。
- 消去したいファイルまたはフォルダを選択しておく。(P6, 7)

① [消去 / A-B C] を押す

② +、- で消去方法を選び、[▶ OK] で決定する

FILE : ファイルを 1 つ選んで消去します。

Folder : 選択したフォルダ内の全ファイルを消去します。サブフォルダ内のファイルやフォルダ自体は消去できません。

1^P ERASE* : 選択したインデックス 1 件を消去します。

ALL^P ERASE* : ファイル内のインデックスを全消去します。

*インデックス消去については P14 をご覧ください。

③ +、- で “YES” を選び、[▶ OK] で決定する

“NO” を選ぶと消去を取り消します。

消去中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。消去の完了までに数分かかる場合があります。“OK” と表示されたら消去の完了です。

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

- 消去の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- ファイル消去およびフォルダ消去では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。ただし、パソコンから転送した読み取り専用の音楽ファイルなどは本機では消去できません。パソコンで削除してください。(P19)
- ファイル消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。(P20)
- フォーマットについては P18 をご覧ください。

録音シーンを選択する（録音シーンセレクト）

本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで、その場に適した設定で簡単に録音できます。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。

① [メニュー / - 集音] を押す

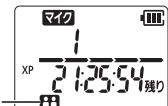
② +、- で “SELECT” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で録音シーンを選び、[▶ OK] で決定する (お買い上げ時は “USER”)

録音シーン	用途
SELECT 1	おけいこ 発音練習など自分の声の録音に。
SELECT 2	会話 インタビューや会話など声の録音に。
SELECT 3	講義 教室での講義などの音の録音に。

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

[録音 ●] を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。



選択した録音シーンアイコン
が表示されます。

■録音シーンの設定値

設定 録音シーン	録音モード (P9)	マイク / ライン 感度 (P9)	Low Cut フィルタ (P9)
おけいこ	XP : 192 kbps	HI (高)	OFF
会話	SP : 128 kbps	HI (高)	ON
講義	XP : 192 kbps	HI (高)	ON

● 録音シーンを使わない場合は、自動で “USER” が選択されます。「録音モード、マイク / ライン感度、Low Cut フィルタ」の設定値を変更すると “USER” に上書きされます。

● 録音シーンを選択しても、「録音モード、マイク / ライン感度、Low Cut フィルタ」の設定値を変更すると録音シーンは解除され “USER” に上書きされます。録音シーンアイコンの表示は消えます。

● 録音シーンはマイク録音の場合に働きます。他機器と接続し、ライン入力を選択している場合 (P12)、録音シーンは働きません。

録音モードを選択する

録音モードを変更することで、より長時間またはより高音質での録音が可能になります。用途や目的に応じて選んでください。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “REC MODE” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で設定を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “XP MP3 192k”)



録音モードの設定によって音質と録音時間(P25)が変わります。

高音質 ↑ ↓ 長時間	録音モード	
	PCM 44.1k	PCM 44.1 kHz ステレオ録音
XP MP3 192k	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps ステレオ録音
SP MP3 128k	MP3 128 kbps	MP3 128 kbps ステレオ録音
LP MP3 32k	MP3 32 kbps	MP3 32 kbps モノラル録音
SLP MP3 8k	MP3 8 kbps	MP3 8 kbps モノラル録音

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。



選択した録音モード
が表示されます。

マイク / ライン感度を切り替える

音源の音量に応じて感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を高感度 “HI” に、音量が小さい場合は感度を低感度 “LO” に設定します。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “REC SENS” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “HI” または “LO” を選び、[▶ OK]

で決定する

HI: 感度を高感度に設定します

LO: 感度を低感度に設定します

(お買い上げ時は “HI”)



設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

録音中の低域ノイズを抑える (Low Cut フィルタ)

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したいときに効果的です。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “L CUT” を選び、[▶ OK] で決定する

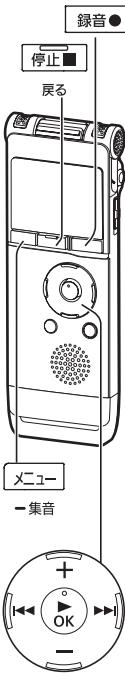
③ +、- で “On” を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “OFF”)



設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）



VOS (Voice Operation System) を設定すると、マイク録音中に無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感知すると再び録音を開始します。

- ・停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。
- ① [メニュー / - 集音] を押す
- ② +、- で “**VOS**” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “**On**” を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は “**Off**”)

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。
VOS 録音を開始するには [録音 ●] を押す。



- 大切な録音をするときは、VOS 設定を “**Off**” に設定してください。小さな音が録音されないことがあります。
- Low Cut フィルタを使うと低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを解除してください。(P9)
- 無音状態で録音一時停止になると、録音 / 動作表示ランプ、“●”、“**VOS**” が点滅します。この録音一時停止中から [録音 ●] を押すと通常の録音一時停止になり “**VOS**” が点灯になります。

■VOS 動作レベルを調整するには

VOS 録音中に **◀**、**▶** を押します。
(お買い上げ時は 3 “**VOS 3**”)



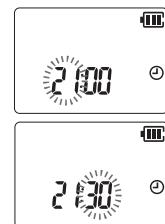
- 1 ~ 5 段階で調整できます。
- 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

指定した時刻に録音する（タイマー録音）

設定した時間に録音を実行できます。あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。(P5)

- ・停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。
- ・録音先を SD カードにする場合は、あらかじめ SD カードを入れておく。(P16)

- ① [メニュー / - 集音] を押す
- ② +、- で “**④**” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で録音時間を選び、[▶▶] を押す
 - Off : タイマー設定を無効にする
 - All : 空き容量いっぱいまで
 - 2h : 2 時間
 - 1h : 1 時間
- ④ +、- で録音を開始する時間の「時」を指定し、
[▶▶] を押す



- ⑤ +、- で録音を開始する「分」を指定し、[▶▶] を押す

- ⑥ +、- で録音先を選び、[▶ OK] で決定する
 - Sd : SD カード
 - InT : 内蔵メモリー

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

- ・タイマー予約設定後は “**④**” が表示されます。
- ・予約時刻の約 1 分前になると録音 / 動作表示ランプ、“●”、“**④**” が点滅し、スタンバイ状態になります。
- ・タイマー録音実行中は “**④**” が点滅します。
- ・タイマー録音実行中やスタンバイ中に [停止 ■ / 戻る] を押すと、実行を中止できます。
- ・予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し、終了時刻に電源が切れます。再生中の場合は再生を停止し、タイマー録音を実行します。
- ・タイマー録音中は、以下のボタンで一部の操作ができます。ホールド中の場合は、ホールドを解除してから操作してください。
 - ・[メニュー / - 集音]、[停止 ■ / 戻る]、+ / - (音量)
 - ・◀、▶ (VOS 値調整)
- ・電池交換すると、タイマー設定が無効になりますので、設定し直してください。

外部マイクを接続して録音する

本機のマイク / ライン端子に外部マイクを接続して録音します。

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。

① 外部マイク（別売）を接続する

外部マイクの接続：

プラグインパワーのマイクを使用してください。

(推奨品：RP-VC201)

φ 3.5 mm ステレオミニプラグ



テレホン用マイクの接続：

① テレホン用マイクのプラグを本機のマイク / ライン端子に接続する

② テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する

③ 電話をする

(推奨品：RP-WA1A)

φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

マイクを接続すると、マイク / ライン切り替え画面が表示されます。



② +、- で “MIC” を選び、[▶ OK] で決定する



③ [録音 ●] を押して、録音を開始する

録音操作については P6 をご覧ください。

マイク / ライン切り替えについて

切り替え画面は、以下の方法でも表示することができます。

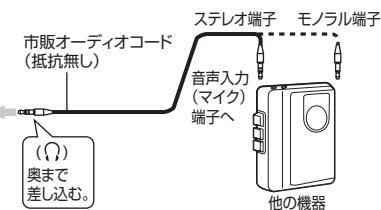
① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “INPUT” を選び、[▶ OK] で決定する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2013年8月現在の品番です。
- 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク / ライン感度を調整してください。(P9)
- マイク / ライン端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
- テレホン用マイクなど、接続した外部マイクがモノラルの場合、片チャンネルしか録音されない場合があります。

本機から他機器へダビングする

- 本機のヘッドホン端子と他機器の音声入力（マイク）端子を、オーディオコードで接続する



② 他機器の録音を開始する

③ ダビングしたいファイルを本機で再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。

別売品（左記、P19）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic

Pana Sense

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>



携帯電話からもお買い求めいただけます。

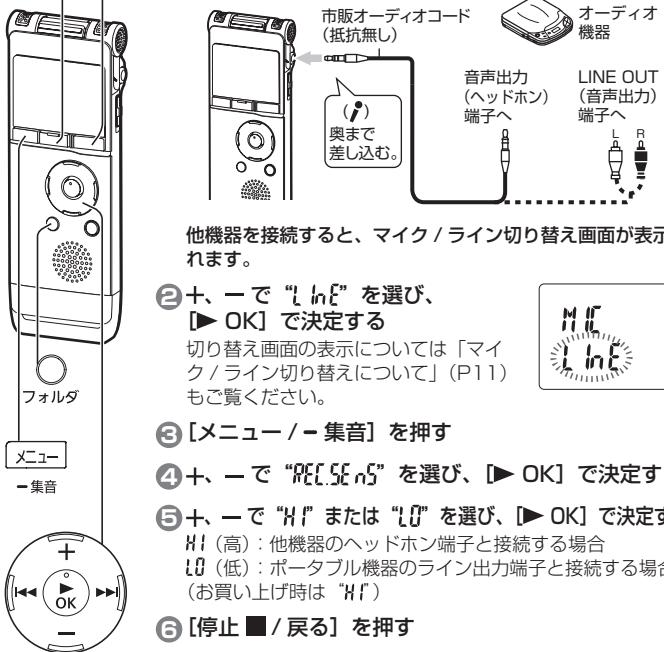
<http://p-mp.jp/cpm/>

他機器を接続して本機に録音する

他機器を本機のマイク / ライン端子に接続して、"マイク" フォルダに録音します。

- 停止状態でないときは、[停止 ■ / 戻る] を押す。

① 他機器を接続する



⑧ 他機器を再生させ、入出力レベルを調整する

- レベルメーターが振り切れて "OVER" が表示される場合は、他機器の音が大きすぎます。音が最も大きくなつた場合でも、"—" の表示が 4 つまでになるように他機器の音を調整してください。
感度の設定をやり直す場合は、[停止 ■ / 戻る] を押し、手順 ③ から再度行ってください。
- 入出力レベルの調整ができたら、他機器の音源を頭出しして停止させます。

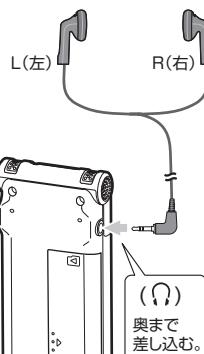
⑨ [録音 ●] を押して、録音を開始する

⑩ 他機器を再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 必要に応じて録音モードを切り替えてください。(P9)
- ライン入力の録音時、"マイク" または "音楽" フォルダが選択されている場合、フォルダは自動的に "Line" フォルダに切り替わり、ライン入力した録音ファイルは、"Line" フォルダに保存されます。

インサイドホンで聞く

インサイドホン（市販）を接続してください。
(プラグタイプ: ϕ 3.5 mm ステレオミニプラグ、インサイドホン推奨インピーダンス 16 Ω)



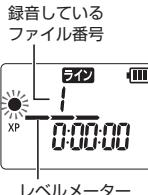
■録音中

録音中の音をモニターする（聞く）ことができます。
・録音中に音量を調整しても、録音レベルには影響しません。

■再生中

再生中の音声は、本機前面の内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

- インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。



集音機能

マイクで集音した音を強調、調整してインサイドホン（市販）で聞くことができます。その場に適した集音シーンを選ぶことで、目的の音が聞こえやすくなります。

- 停止状態ないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。
- インサイドホンを接続しておく。(P12)

① [メニュー / - 集音] を約 1 秒以上押したままにする

音量が 17 以上の状態で集音機能を起動した場合、音量は 16 に設定されます。

② ▶◀、▶▶ で集音シーンを選ぶ

(お買い上げ時はレクチャー "LECT")

③ +、- で音量を調整する

集音機能を停止する：【停止 ■ / 戻る】を押す

集音シーン	効果と用途
LECT	【レクチャー】 音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
TV	【テレビ】 広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
PARTY	【パーティー】 全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
HALL	【ホール】 低・中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

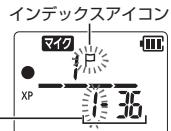
- 集音機能を使うと、フォルダは "マイク" に切り替わります。
- 【録音 ●】を押すと選択中の集音シーンで強調、調整された音声で録音を開始します。
 - "マイク" フォルダに録音されます。
 - 録音モード (P9) は "XP" となります。
 - 録音中に音量を調整しても録音レベルには影響しません。
- 接続した外部マイク (P11) の音声でも、集音機能を使って聞いたり録音したりできます。(接続したマイクの特性によっては、内蔵マイクを使用したときと効果が異なる場合があります)
- ハウリングを防止するため、インサイドホンとマイクを近づけないでください。
- 集音機能使用中にマイクポジションを切り替えると、音量設定によっては大きな操作音が入る場合があります。

インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作 (P7) でその位置にとび越すことができます。

インデックスを付ける

- ① 録音中や録音一時停止中、または再生中にインデックスを付けたい位置で [フォルダ] を押す
インデックスが付くとインデックスアイコンとインデックス番号が表示されます。



復習したい位置に戻ってインデックスを付ける

今聞いているところから約 3 秒戻ってインデックスを付けることができます。語学学習などの際、復習したい音声に気が付いたところで操作をすれば、あとで簡単に復習ポイントを探すことができます。

- ① 再生中、[フォルダ] を約 1 秒以上押したままにする
ボタンの押し始めから約 3 秒前にインデックスが付きます。

- インデックスは、1 ファイルにつき最大 36 か所付けることができます。
- インデックスを付けるには、付けたい位置の前後に約 2 秒間の間隔が必要です。ファイルの先頭または終端から約 2 秒間は、インデックスを付けることができません。
- 音楽** フォルダの音楽ファイルにインデックスを付けることもできます。ただし、ファイル名が同じで拡張子だけが異なる音楽ファイルがあると、正しいインデックス位置にとび越せない場合があります。(Track01.MP3 と Track01.WAV が同一フォルダ内にあるときなど)

インデックスがあるファイルのスキップ操作について

■ 前後のインデックス位置にとび越すには

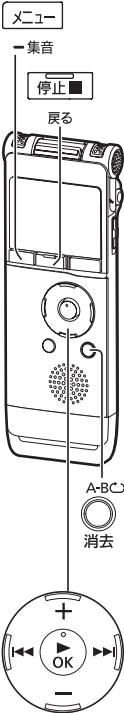
停止または再生中に ▶◀、▶▶ を押す。

■ インデックス位置で止まらずに前後のファイルにとび越すには

停止中に ▶◀、▶▶ を約 1 秒以上押したままにする。

- 再生時、インデックスポイントの後ろ約 2 秒未満の位置で ▶◀ を押しても、そのポイントには止まりません。
- 本機以外でインデックスを付けたファイルは、再生中のスキップ操作で正しい位置にとび越せない場合があります。

インデックス機能（続き）



インデックスを消去する

インデックスを1件ずつ、またはファイル内のインデックスをまとめて消去できます。

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。
- インデックスを消去したいファイルを選択しておく。
- インデックスを1件ずつ消去する場合は、消去したいインデックスを選択しておく。

①【消去 / A-B-C】を押す

②+、-で消去方法を選び、【▶ OK】で決定する

- ^PERSE：選択したインデックス1件を消去します。
ALL^PERSE：ファイル内のインデックスを全消去します。

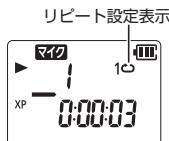
③+、-で“YES”を選び、【▶ OK】で決定する

消去中は録音／動作表示ランプが点滅します。

繰り返し再生（リピート設定）

①再生または停止中に【▶ OK】を約1秒以上押したままにする

操作するごとにリピート設定が切り替わります。



表示無し：(お買い上げ時)1つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまで再生して停止します。

1C：1つのファイルを繰り返して再生します。

C：1つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。

ALL C：“マイク”、“ライン”フォルダの場合、“C”と同じ動作になります。

“音楽”フォルダ（P17）の場合、フォルダ内の全ファイル（最大999ファイル）を繰り返して再生します。

再生速度を変更する

再生速度を遅聞き0.5倍速（50%）から早聞き2倍速（200%）まで21段階で調整できます。

①再生中に【▶ OK】を押す

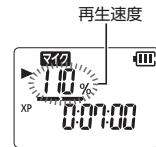
②◀、▶を押して再生速度を選ぶ

▶：押すたびに再生速度が速くなります。

◀：押すたびに再生速度が遅くなります。

1倍速（100%）よりも速い場合は10%ずつ、1倍速よりも遅い場合は5%ずつ、再生速度を調整できます。

【停止 ■ / 戻る】を押すと、速度の変更を中止して1倍速再生に戻ります。



③【▶ OK】で決定する

- ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。
●再生速度を変更すると、音質効果は働きません。（P16）
●電源を切ると、再生速度は1倍速に戻ります。

位置を指定して再生（時間指定サーチ）

再生開始位置を時間で指定し、そこから再生できます。長時間録音したファイルの再生などに便利です。

①再生中に【メニュー/- 集音】を押す

②+、-で“SEARCH”を選び、【▶ OK】を押す

再生が停止し、現在の再生位置（時間）が表示されます。

③再生開始位置を設定する

◀、▶で時、分、秒を選び、+、-で数値を変更します。



④【▶ OK】で決定する

指定した位置から再生されます。

設定画面を途中で閉じるには【停止 ■ / 戻る】を押す。

- 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

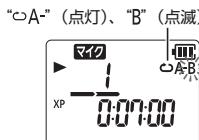
A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

- ・シャドーイング再生を OFF にしておく。（右記、手順 ①～③）

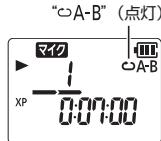
① 再生中に【消去 / A-B C】を押す

始点（A）が設定されます。



② 終点（B）で【消去 / A-B C】を押す

A-B リピート再生が始まります。



A-B リピート再生を解除する：再生中に【消去 / A-B C】を押す

- 始点（A）と終点（B）の間が約2秒以下の場合、A-B リピート再生できません。
- 始点（A）を設定したままファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピート再生が開始されます。
- ファイルをまたいでの A-B リピート再生はできません。
- スキップ操作をすると、始点（A）に戻ります。
- サーチで始点（A）または終点（B）に移動した場合は、始点（A）から再生を開始します。
- A-B リピート再生中、インデックススキップは働きません。

シャドーイング再生

シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング再生を使うと、A-B リピート区間を通常音量と無音で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。



① 再生または停止中に【メニュー / - 集音】を押す

② +、- で「**OFF**」を選び、【▶ OK】を押す

③ +、- で「**On**」を選び、【▶ OK】で決定する

シャドーイング再生が ON になり、シャドーイングアイコンが表示されます。（お買い上げ時は「OFF」）
A-B リピート再生中の場合はシャドーイング再生を開始します。

再生中の場合は、手順 ④ へ進む



シャドーイングアイコン

設定画面を閉じるには【停止 ■ / 戻る】を押す。

④ シャドーイング再生させたいファイルを選び、【▶ OK】を押す

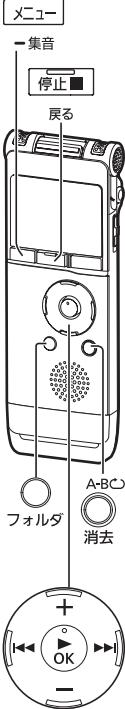
⑤ A-B リピート再生を行う（左記、手順 ①、②）

A-B リピート区間を通常音量と無音で、交互に繰り返し再生します。無音再生中はシャドーイングアイコンが点滅します。

■ 再生速度を変更する

お手本がよく聞き取れない場合は、再生速度を遅くしてみてください。シャドーイング再生中も再生速度を変更することができます。（P14）
再生速度を速くしてお聞きになることもお試しください。学習の効率化や難易度のアップにもなります。

- スキップ操作をすると始点（A）に戻り、通常音量で再生します。
- 無音区間を再生しているときにサーチをすると、サーチを解除した位置から通常音量で再生します。始点（A）または終点（B）に移動した場合は、始点（A）から通常音量で再生を開始します。
- 始点（A）と終点（B）の間が約2秒以下の場合、シャドーイング再生できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）としてシャドーイング再生が開始されます。
- ファイルをまたいでのシャドーイング再生はできません。
- シャドーイング再生中、インデックススキップは働きません。



聞き取りやすくする / 好みの音質で再生する

マイク録音したファイルで、ノイズが多い場合や遠近による音量差が大きい場合に、目的の音声を聞き取りやすく再生できます。また、イコライザー（EQ）を選ぶと音楽ファイルなどを好みの音質で楽しめます。（音質効果）

音質効果は1つだけ選択できます。どれかの音質効果を設定すると、それ以外の音質効果は無効になります。

- ① 再生または停止中に【メニュー / - 集音】を押す
- ② +、- で “EFFECT” を選び、【▶ OK】で決定する
- ③ +、- で設定を選び、【▶ OK】で決定する
(お買い上げ時は “OFF”)

設定画面を閉じるには【停止 ■ / 戻る】を押す。

設定	効果と用途	
OFF	録音されたままの音で再生します。	
NC LO	弱め	ノイズキャンセル (NC : Noise Cancel)
NC HI	強め	ノイズを軽減します。
SLC LO		弱め 音声レベル自動調整 (SLC : Sound Level Control) 大音量部分と小音量部分の音量差が少なくなるように調整します。
SLC HI	強め	
CLEAR	EQ	CLEAR 高音域をより強調します。 イコライザー (EQ : Equalizer)
HEAVY	EQ	HEAVY 低音域と高音域をやや強調します。 イコライザーはインサイドボンで聞いているときのみ有効です。
VOICE	EQ	VOICE 雑音を軽減し人の声を聞きやすくなります。

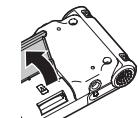
- 早聞き、遅聞き再生中は音質効果が働きません。
- 音源によっては十分な効果が得られない場合があります。
- パソコンから転送した音楽ファイルの再生で、ノイズキャンセルや音声レベル自動調整を使うと音がひずむ場合があります。

SDカードを使用する

本機は、内蔵メモリーのほかに microSD/microSDHC カードを使用することができます。新しいSDカードは本機でフォーマット(P18)してからお使いください。

SDカードを入れる

- ① 電池 / SDカード挿入部ふたを開ける

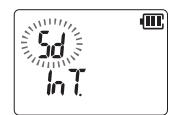


- ② SDカードを入れ、電池 / SDカード挿入部ふたを閉じる



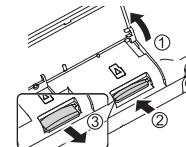
SDカードの向き (A) を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

- 停止状態で SDカードを入れた場合は、メモリーを選択する画面が表示されます。
- +、- で SDカード “SD” を選び、【▶ OK】で決定します。



SDカードを取り出すときは

- ① 電池 / SDカード挿入部ふたを開けます。
- ② SDカードを軽く押してください。
- ③ SDカードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。



- 停止中の画面で【フォルダ】を約1秒以上押したままにすると、内蔵メモリーとSDカードを切り替えることができます。(P6)
- 本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ~ 32 GB の microSDHC カードに対応しています。
- SDカードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SDカードについては、当社サポートサイトでご確認ください。 <http://panasonic.jp/support/audio/>
- SDカードを入れて、SDカードを選択しているのに、画面に “SD” が表示されない場合は、本機が SDカードを認識していません。SDカードを入れ直してください。
- 内蔵メモリーと SDカードとの間で、録音ファイルのコピーはできません。パソコンを使ってください。(P19)

本機で音楽を聴く (MP3 音楽ファイル)

- ・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。(P19)

① [フォルダ] を押して、“音楽” フォルダを選ぶ

② ▶◀、▶▶ でファイル選び、[▶ OK] を押す



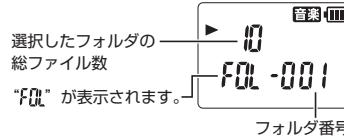
* 全曲リピート “ALL ◎” (P14) 時は、全曲中のファイル番号が表示されます。

- MP3 ファイルと本機で録音した PCM (WAV) ファイルのみ再生できます。
- “音楽” フォルダでは、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。(「本機のフォルダ構造について」 P21)
- 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
- 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間の表示が実際と異なったり、A-B リピート再生の際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
- ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。
- ・ MP3 : MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
- ・ 可変ビットレート : 音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

フォルダ頭出し機能

“音楽” フォルダ内の複数のフォルダを切り替えて先頭の曲の頭出しができます。

① 再生中に [消去 / A-B ◎] を 約 1 秒以上押したままにする



選択したフォルダの
総ファイル数

“FOL” が表示されます。

② “FOL” 表示中に、▶◀、▶▶ を押す

- ・前、または次のフォルダの 1 曲目を頭出します。
- ・“FOL” 表示中は、再生速度変更や早送り / 早戻しができません。

■ フォルダ頭出しを解除する

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。

- ・もう一度、[消去 / A-B ◎] を約 1 秒以上押したままにする
- ・[▶ OK] を押す
- ・[停止 ■/ 戻る] を押す (再生が終了します。)

● フォルダ頭出しあは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。

例) 111 ファイルずつ入ったフォルダを 10 個以上保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。

“音楽” フォルダについて

再生対象は以下のフォルダです。

- ・ “MUSIC” フォルダ
- ・ “MIC” (“マイク”)、“LINE” (“ライン”)、“MUSIC” 以外のフォルダ^{*1}
英字はパソコン接続時に表示されるフォルダ名 (P21) で、かっこ内は本機で表示されるフォルダ名です。

“音楽” フォルダ内の再生順序は以下のとおりです。

- ① “MUSIC” フォルダの直下のファイル
- ② “MUSIC” フォルダのサブフォルダ内のファイル
- ③ “MIC, LINE, MUSIC” 以外のフォルダ^{*1}内のファイル
 - ・ フォルダが複数存在する場合は、パソコンから本機へ転送した順に再生されます。
 - ・ 複数のファイルを一度に転送する場合は、パソコンが決めた転送順で再生されます。
 - ・ ファイル名の先頭に数字を付けることで、各フォルダ内で、ファイルをお好みの順序に再生させることができます。(P20)
 - ・ パソコンで、ファイルやフォルダの削除や追加を繰り返すと、再生順序が入れ替わる場合があります。

フォルダ頭出し (左記) の順序は、“MUSIC” フォルダ内の全フォルダを頭出したあと、“MIC, LINE, MUSIC” 以外のフォルダ^{*1}の頭出しどなります。

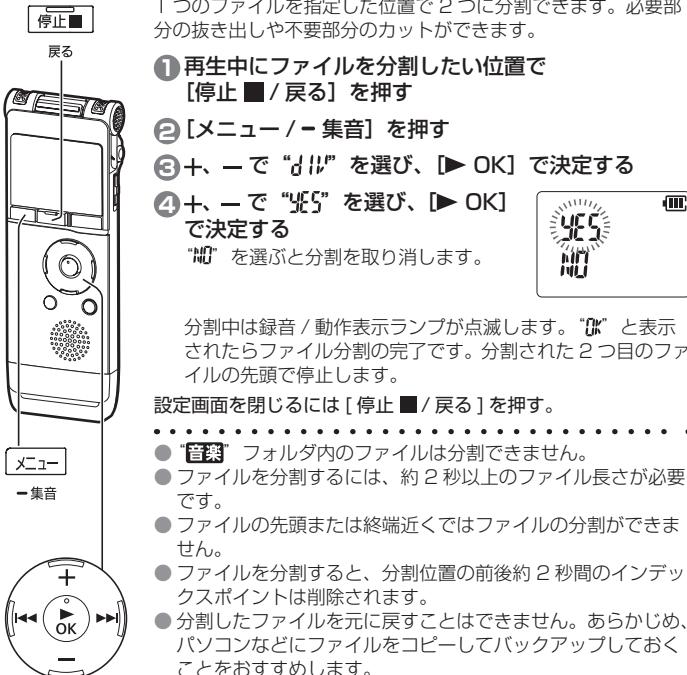
*1 “MIC, LINE, MUSIC” 以外のフォルダ (P21) の例

本機以外のパナソニック製 IC レコーダー^{*2}で SD カードに録音したファイル (MP3 ファイルまたは PCM ファイル) を、SD カードを差し替えるだけで下記の方法により、本機で再生することができます。

- ① SD カードに切り替え、“音楽” フォルダを選択する
- ② フォルダ頭出しをする (左記)

*2 RR-XR320, RR-XR330 を除く (2013 年 8 月現在)

ファイルを分割する



1つのファイルを指定した位置で2つに分割できます。必要な部分の抜き出しや不要部分のカットができます。

- ①再生中にファイルを分割したい位置で
【停止 ■ / 戻る】を押す

- ②【メニュー / - 集音】を押す

- ③+、-で“d l”を選び、【▶ OK】で決定する

- ④+、-で“NO”を選び、【▶ OK】
で決定する

“NO”を選択すると分割を取り消します。

分割中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。“OK”と表示されたらファイル分割の完了です。分割された2つ目のファイルの先頭で停止します。

設定画面を閉じるには【停止 ■ / 戻る】を押す。

- “音楽” フォルダ内のファイルは分割できません。
- ファイルを分割するには、約2秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭または終端近くではファイルの分割ができません。
- ファイルを分割すると、分割位置の前後約2秒間のインデックスポイントは削除されます。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、パソコンなどにファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが1つ増えます。(P20)
- 内蔵メモリーまたはSDカードの空き容量がない場合や、すでに199ファイル録音されている場合は、ファイル分割できません。

共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の操作のしかた

- 停止状態でないときは、【停止 ■ / 戻る】を押す。

- ①【メニュー / - 集音】を押す

- ②+、-で設定項目 (“bEE P”、“lEd” または “FORMAT”) を選び、
【▶ OK】で決定する

点滅している項目が、現在選んでいる設定です。

- ③+、-で設定を変更し、【▶ OK】で決定する

設定画面を閉じるには【停止 ■ / 戻る】を押す。

操作音（音声ガイド）“bEE P”

操作時の操作音を設定します。

“bEE P”：音（ピッ）と音声ガイドを鳴らす

“On”：音（ピッ）を鳴らす

“OFF”：鳴らさない

（お買い上げ時は“bEE P”）

- “bEE P” または “On” に設定しても録音中や録音一時停止中、操作音は鳴りません。

録音 LED（録音 / 動作表示ランプ）“lEd”

録音時、録音 / 動作表示ランプを点灯させるかどうかを設定します。

“On”：点灯させる

“OFF”：点灯させない

（お買い上げ時は“On”）

- “OFF” に設定してもファイル消去時など動作を示す場合は点滅します。

フォーマット “FORMAT”

内蔵メモリー、またはSDカード内の全ファイルを完全に消去し、フォルダ構成をお買い上げ時の状態に復元します。

- ①+、-でSDカード“Sd”または内蔵メモリー“InT”を選び、【▶ OK】で決定する。

- ②“YES”を選び、【▶ OK】で決定する。

- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。

- フォーマット中は、取り消しができません。

- フォーマット中は、電池やSDカードを抜かないでください。

- 新しいSDカードは、まず本機でフォーマットしてからお使いください。

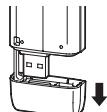
本機をパソコンに接続する

本機とパソコンを接続し、内蔵メモリーやSDカード、パソコンとの間でファイルの移動やコピーすることができます。

動作環境については、「パソコンの動作環境」(P20)をご覧ください。

- ・パソコンを起動させておく。
- ・本機の電源を切っておく。

① USB端子ふたを外す



② 本機をパソコンのUSBポートに接続する

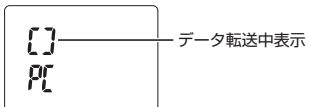


■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン(Windows 7:)をクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OSの設定によっては表示されません。)取り外したあとは、自動的に本機の電源が切れます。

パソコン接続中は、本機の操作はできません。

データ転送中は、絶対に本機およびSDカードを取り外さないでください。



- USB端子の状態によってパソコンに接続しにくい場合は、USB延長ケーブル(別売) (推奨品: RP-CUMB20)をご使用ください。
- 別売品の品番は、2013年8月現在の品番です。
- 次の場合は、動作を保証しません。
 - ・1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)
 - ・USBハブを使用している場合
 - ・別売のRP-CUMB20以外のUSB延長ケーブルを使用している場合

ファイルをパソコンに取り込む/整理する

表示はWindows 7(OS)の場合です。

- ・本機をパソコンに接続しておく。(左記)

① パソコン側の“コンピューター”を開く

本機の内蔵メモリー、SDカードが下記の名前で表示されます。

内蔵メモリー: IC RECORDER SDカード: IC REC SD*

* SDカードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていないSDカードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」と表示されます。

② 内蔵メモリーを開き、フォルダやファイルをパソコンにコピーまたは移動する



- Windows 7の場合、“フォルダ”は“フォルダー”と表示されます。
- “マイク”、“ライン”フォルダは、パソコンでは“MIC (MIC_SD)、LINE (LINE_SD)”と表示されます。(括弧内はSDカードの場合)
- “音楽”フォルダは、パソコンでは以下のように表示されます。
 - ・“MUSIC”フォルダ
 - ・“MIC、LINE、MUSIC”以外のフォルダ(P21)
- “DATA”フォルダはデータファイルなどを保存するフォルダです。
- パソコンで、本機およびSDカードをフォーマットしないでください。
- パソコンの設定によっては、拡張子が“.INX”的ファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで削除するとインデックス情報は消去されます。
- PCM録音ファイルの場合、パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、“WAV”になります。

本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。本機で再生できる音楽ファイルはMP3、またはPCM(WAV)*ファイルです。

*本機で録音したPCM(WAV)ファイルのみ。

- ・本機をパソコンに接続しておく。(左記)

① “MUSIC”フォルダに、パソコンのフォルダやファイルをコピーする



本機に音楽ファイルを転送する（続き）

本機では、1つのフォルダにつき199ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- データ転送中は、絶対に本機およびSDカードを取り外さないでください。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- “MUSIC”フォルダの中にサブフォルダを作つてファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については、「本機のフォルダ構造」(P21)をご覧ください。
- 音楽ファイルは、“MIC (MIC_SD) または LINE (LINE_SD)” フォルダに転送しても再生できません。(かっこ内は SD カードの場合)
- 内蔵メモリーおよび SD カードの直下に転送したファイルは再生できません。“MUSIC” フォルダに転送してください。

ファイル名について

■本機で録音したファイル名の付き方

例：2013年9月20日17時20分／マイクフォルダ／MP3録音の場合

001	130920	1720V0	MP3	① ファイル番号	④ フォルダの区分 (V, L) V : マイクフォルダ
①	②	③	④	⑤ (001～199)	② 録音日付(半角数字6文字) L : ラインフォルダ
"_"	(半角)	"0"	③ 録音時刻(半角数字4文字)	⑤ 拡張子 (.MP3/.WAV)	

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では“1”などの番号で表示されます。

■ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更

本機内の録音ファイルを消去や分割すると、ファイルが前詰めされたり後ろにずれたりし、ファイル番号は自動的に再割り当てされます。

■パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻す

ファイル名をパソコンで変更すると、“MUSIC” フォルダに入っていないファイルは再生できなくなります。上記の「本機で録音したファイル名の付き方」に従った名前に変更するか、“MUSIC” フォルダに入れて再生してください。

ただし、ファイル消去などでファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複すると本機で再生できない場合があります。

一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、“MUSIC” フォルダに転送して再生することをお勧めします。(P19)

■“MUSIC” フォルダ内のファイル名と再生順序

“MUSIC” フォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は3桁まで判別することができます。

1、01、001 のように付け方が違う場合、001～999 が最も優先され、次に01～99 で、その次が1～9となります。001 音楽A.MP3、002 音楽B.MP3 のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。

再生については「本機で音楽を聞く(MP3 音楽ファイル)」(P17)をご覧ください。

フォルダ名を変更しないでください

本機で作成された“MIC”などのフォルダ名をパソコンで変更すると、本機の電源を入れた時点で、新たに“MIC”などのフォルダが作成されます。

- ・名前を変更したフォルダ内のファイルは、“音楽” フォルダから再生できます。(P17)
- ・録音した場合は、新たに作成されたフォルダにファイルが保存されます。ファイル番号は 001 から開始します。

パソコンの動作環境

(2013年8月現在)

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応OS	プリインストールされた各日本語版 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2, 3• Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1, 2• Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および Service Pack 1• Microsoft® Windows® 8/Pro• Microsoft® Windows® RT
	• Mac OS X 10.2.8 – 10.8
インターフェース	USB 端子 (USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。) <ul style="list-style-type: none">※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。※ (Macintosh) OS の標準ドライバーで動作します。※ NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

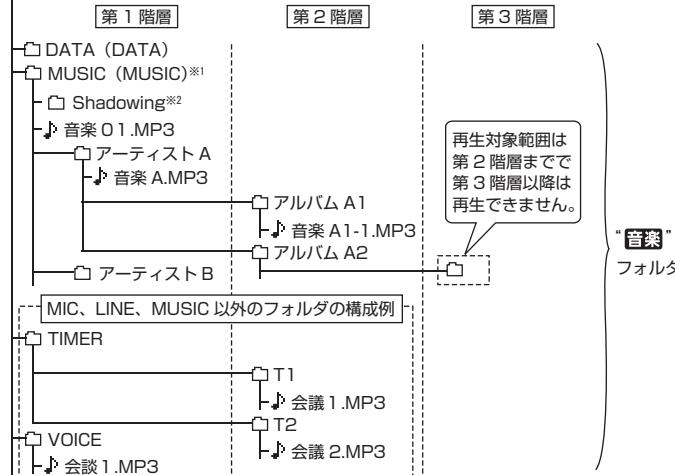
パソコンの動作環境（続き）

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接／間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

本機のフォルダ構造

□ 内蔵メモリー (SD カード) □ フォルダ ↗ ファイル

- LINE (LINE_SD)
- MIC (MIC_SD)
 - ↳ 001_130920_1720V0.MP3
 - ↳ 002_130925_0905V0.MP3



*¹ MUSIC フォルダは、MP3 音楽ファイルなどをパソコンから転送する場合に使用します。MUSIC フォルダの中（下）にサブフォルダを作成できます。上記は構成例です。

*² 内蔵メモリーのみ

Q&A（よくあるご質問）

Q (質問)

他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは、“MUSIC” フォルダに転送する（P19）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。

マンガン電池は使えますか？

A (回答)

- MP3 および PCM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、“MUSIC” フォルダに転送する（P19）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。

- マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

こんな表示が出たら

表示

ここをご確認ください

199 FULL

- 録音可能ファイル数（199）を超えて録音や分割をしようとした場合に表示されます。
不要なファイルを消去してください。（P8）

ALL FULL

- 内蔵メモリーまたは SD カードに空き容量がないときに録音や分割をしようとしました場合に表示されます。不要なファイルを消去してください。（P8）

NO FILE

- フォルダ内にファイルがないときに再生しようとした場合に表示されます。

No bat

- 新しい電池と交換してください。

No Sd

- SD カードを入れてください。（P16）

36 P FULL

- 1 ファイルのインデックス最大数（36）を超えてインデックスを付けようとした場合に表示されます。不要なインデックスを消去してください。（P14）

P ERROR

- 手前にインデックスがない位置でインデックスを消去しようとした場合に表示されます。停止中にインデックススキップを行い消去したいインデックスを選んでください。（P14）
- インデックスがないファイルでインデックスを消去しようとした場合に表示されます。
- ファイルの先端、終端、または他のインデックスポイントから約 2 秒以内の位置でインデックスを付けようとした場合に表示されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●電池

こんなときは	ここをご確認ください
他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・電池容量がわずかになった時点を寿命としています。

●操作

こんなときは	ここをご確認ください
本機が動作しない	・ホールド状態になってしまですか？ホールドを解除してください。(P4) ・パソコン接続時は本機では操作できません。
操作ができない	・ホールド状態になてしまですか？ホールドを解除してください。(P4) ・パソコン接続時は本機では操作できません。

●録音

こんなときは	ここをご確認ください
メモリー容量を使い切るのが早い	・録音モードによって録音時間（P25）は大きく変わります。ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。(P9) ・データファイルが増えてしまですか？ファイルを整理してください。
録音が勝手に一時停止する	・VOS が働いていませんか？(P10)
録音時にインサイドホンで音声を聞くと、「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。 ・インサイドホンと本機を離してください。 ・外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
録音内容が途中までしか録れていない	・録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになつたりすると、録音データの更新ができないことがあります。 ・メモリーを使いつぶしていませんか？

●録音（続き）

こんなときは	ここをご確認ください
録音できない	・録音残り時間はありますか？(P7) ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。
録音時に“ERR”が表示される	・メモリーの書き込みが遅くなっている可能性があります。ファイルをパソコンにバックアップし、本機の内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしてください。(P18) ・フォーマットしても改善されない場合は、お使いの SD カードが当社基準において動作確認済みの SD カードがどうかをご確認ください。(P16)
録音したファイルに音とびが発生する	・パソコンで本機の内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。(P18) ・SD カードの製造メーカーや種類によっては、本機で正しく動作しないものもあります。お使いの SD カードが当社基準において動作確認済みの SD カードがどうかをご確認ください。(P16) ・VOS が働いていませんか？(P10)
録音した音声にガサガサと雑音が入る	・録音中、本機を手でこすったり物が触れる、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
録音した音が割れる	・マイク / ライン感度設定を “L” にするか (P9)、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ設定を ON にしてください。(P9)
録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	・本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 ・Low Cut フィルタを “H” にしてください。雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。(P9) ・録音モード（P9）やマイク / ライン感度（P9）を切り替えてみてください。

故障かな!? (続き)

●録音 (続き)

こんなときは	ここをご確認ください
録音した音声が実際と異なる	<ul style="list-style-type: none"> Low Cut フィルタ (P9) が設定されていませんか?
録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	<ul style="list-style-type: none"> マイク / ライン感度を切り替えてみてください。(P9)
タイマー録音ができない “録音”が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 録音残り時間はありますか? (P7) フォルダ内に録音可能ファイル数 (199) が録音されていませんか? 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。 本機がパソコンに接続されている場合は、動作しません。パソコンから取り外してください。 タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。 録音先を SD カードにして、タイマー録音開始時刻前に SD カードを抜いた場合は動作しません。

●再生

こんなときは	ここをご確認ください
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> インサイドホン (市販) を接続していませんか? (P12)
音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調整してください。(P7)
“マイク”、“ライン” フォルダ内のファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンでファイル名を変更していませんか? “マイク”、“ライン” フォルダ内では「本機で録音したファイル名の付き方」(P20) に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。“MUSIC” フォルダに転送すると再生できます。(P19) 転送先が異なっていますか? パソコンからファイル転送する際、“MIC (MIC_SD)、LINE (LINE_SD)” フォルダに入れても、本機で再生できません。“MUSIC” フォルダに転送してください。(かっこ内は SD カードの場合) (P19)

●再生 (続き)

こんなときは	ここをご確認ください
“音楽” フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機では MP3 ファイルと本機で録音した PCM (WAV) ファイルを再生できます。WMA、AAC など、その他のファイルは再生できません。
再生速度が速かったり、遅かったりする	<ul style="list-style-type: none"> 再生速度を変更していませんか? (P14)
インサイドホン (市販) から音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	<ul style="list-style-type: none"> プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか? プラグが汚れていませんか? プラグをきれいにふいてください。
選択ファイルが勝手に変わる	<ul style="list-style-type: none"> パソコンに接続して本機のファイルを削除すると本機での選択ファイルが変わる場合があります。
A-B リピート再生する、と、無音で再生される	<ul style="list-style-type: none"> シャドーリング再生を使っていますか? (P15)
全曲リピート “ALL ⌂” 設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> “音楽” フォルダに 1000 ファイル以上ある場合、999 ファイルまで全曲リピートの対象になります。(P14)
フォルダ頭出しが働かない	<ul style="list-style-type: none"> “音楽” フォルダのフォルダ頭出しは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。(P17) 例) 111 ファイルずつ入ったフォルダを 10 個以上保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。

●集音機能

こんなときは	ここをご確認ください
「ピー」という雑音が混じる	<ul style="list-style-type: none"> 音量を下げてください。 インサイドホンと本機を離してください。 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。(P13)
インサイドホン (市販) から音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	<ul style="list-style-type: none"> プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか? プラグが汚れていませんか? プラグをきれいにふいてください。

故障かな!? (続き)

●その他

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない	・電池が消耗していませんか?新しい乾電池と交換してください。(P4)
電源が切れない	・録音中や再生中ではありませんか?録音中や再生中に電源を切るとホールドになります。[停止■/戻る]を押して停止したあとに電源を切ってください。(P4)
電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能(停止状態で30分間操作しないと自動的に電源が切れる機能)が働いていませんか?(P4)
SDカードが認識されない "SD E R P D F" が表示される	・SDカードをパソコンなどでフォーマットしていませんか?本機でフォーマットし直してください。(P18) ・SDカードが正しく挿入されていますか?SDカードを入れ直してください。(P16)
消去時に "E R P D F" が表示される	・ファイル属性「読み取り専用」のファイルを消去しようとしています。パソコンに接続し、パソコンで削除してください。(P19)
ファイル、フォルダが消去できない	・パソコンから転送したMP3音楽ファイルが読み取り専用の場合や、「音楽」フォルダのサブフォルダは、本機では消去できません。パソコンで削除してください。(P19)
ファイル分割ができない "E R P D F" が表示される	・録音残り時間はありますか?(P7) ・フォルダ内に199ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイル分割するには約2秒以上のファイル長さが必要です。 ・ファイルの先頭または終端近くではファイルの分割ができません。 ・ファイルを分割したい位置まで再生後、[停止■/戻る]を押してから分割してください。(P18)
パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。(P19) ・パソコンから本機を取り外し、再接続してください。 ・パソコンのOSが非対応ではありませんか?(P20)
録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。(P5)

シャドーイングを体験するには

シャドーイングを使った学習を体験するための練習用コンテンツ一式を、本機の内蔵メモリー内に用意しています。練習用コンテンツは“MUSIC”フォルダ内の“Shadowing”フォルダに入っています。フォルダの選択についてはP6を、シャドーイング再生についてはP15をご覧ください。

お買い上げ時の設定では、「音楽」フォルダを選択すると1曲目から練習用コンテンツのMP3ファイルを再生できます。また、練習用コンテンツにあるPDFファイルをご覗いただくと、より効果的にシャドーイングを使った学習を体験できます。

■練習用コンテンツ一式について

保存場所	IC RECORDER(E):\MUSIC\Shadowing ("E"はお使いの環境によって異なります)	
内容	MP3ファイル	シャドーイングについての音声解説と、難易度別の練習用コンテンツ6種類(英語音声)が収録されています。
	PDFファイル	MP3ファイルの音声内容をテキストでお読みいただけます。パソコンでご覧ください。

■PDFファイルを開くには

- ①本機をパソコンに接続する(P19)
パソコンの動作環境についてはP20をご覧ください。
- ②パソコンで本機“IC RECORDER”的“MUSIC”フォルダを開く
③“Shadowing”フォルダ内のPDFファイルを開く

■PDFファイルが開かないときは

PDFファイルを閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Adobe Readerを下記のサイトからダウンロードできます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

■練習用コンテンツ一式を消去したいときは

パソコンで削除してください。

本機で消去する場合は、MP3ファイルのみ消去できます。

■練習用コンテンツ一式を復元したいときは

本機の内蔵メモリーをお買い上げ時の状態に戻す(フォーマットする)ことで、練習用コンテンツ一式を復元することができます。(P18)

フォーマットする前に、必要なファイルはパソコンに保存してください。

当社サイトでも、シャドーイングについて紹介しています。

<http://panasonic.jp/icrec/>

仕様

電源	乾電池 DC 1.5 V (単4形アルカリ乾電池 × 1本使用)
サンプリング周波数 ([] 内は録音モード)	44.1 kHz [PCM : PCM 44.1 kHz] 44.1 kHz [XP : MP3 192 kbps] 44.1 kHz [SP : MP3 128 kbps] 16 kHz [LP : MP3 32 kbps (モノラル)] 8 kHz [SLP : MP3 8 kbps (モノラル)]
録音方式	リニア PCM (16 bit) / MP3
再生可能ビットレート (音楽 フォルダ)	8 kbps ~ 320 kbps (MP3)
音声	再生可能 サンプリング周波数 (音楽 フォルダ)
内蔵マイク S/N 比	45 dB (PCM 44.1 kHz)、フィルター (JIS A)
周波数特性 (-10 dB、 録音 / 再生時) ([] 内は録音モード)	45 Hz ~ 21,000 Hz [PCM] 45 Hz ~ 20,000 Hz [XP] 45 Hz ~ 17,000 Hz [SP] 45 Hz ~ 6,700 Hz [LP] 45 Hz ~ 3,000 Hz [SLP]
USB	USB2.0 (Hi-Speed)
音声出力	ヘッドホン端子 直径 3.5 mm、推奨インピーダンス 16 Ω、 2.5 mW + 2.5 mW (JEITA)
音声入力	スピーカー出力 直径 20 mm、8 Ω、90 mW (JEITA)
使用温度範囲	0 °C ~ 40 °C
使用湿度範囲	20% RH ~ 80% RH (結露なきこと)
最大外形寸法	40.1 (W) mm × 112.7 (H) mm × 15.6 (D) mm (JEITA)
本体寸法	38.5 (W) mm × 112.7 (H) mm × 14.6 (D) mm
質量	約 51 g (乾電池を含む) / 約 40 g (乾電池を含まず)

内蔵メモリー容量 (内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。)

記録容量 (メモリー容量)	2 GB
---------------	------

録音時間の目安 (使用条件によっては短くなる場合があります。)

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM (ステレオ)	約 2 時間 50 分	1411 kbps
XP (ステレオ)	約 21 時間 30 分	192 kbps
SP (ステレオ)	約 32 時間 30 分	128 kbps
LP (モノラル)	約 130 時間 30 分	32 kbps
SLP (モノラル)	約 522 時間 30 分	8 kbps

電池持続時間 (使用条件によっては短くなる場合があります。)

録音モード	内蔵マイク
PCM	約 29 時間 30 分
XP	約 35 時間 30 分
SP	約 36 時間
LP	約 47 時間 30 分
SLP	約 48 時間 30 分

録音モード	内蔵スピーカー ^{※3}	インサイドホン ^{※4, ※5}
PCM	約 12 時間 30 分	約 20 時間
XP	約 14 時間	約 26 時間
SP	約 14 時間	約 28 時間
LP	約 17 時間	約 31 時間 30 分
SLP	約 17 時間	約 32 時間 30 分

^{※1} パナソニック単4形アルカリ乾電池を使用

^{※2} 録音モニター無し、録音 / 動作表示ランプ OFF

^{※3} 音量 11、再生速度 1 倍速 (100%)、当社試験法による測定です。

^{※4} 音量 14、音質効果 OFF、再生速度 1 倍速 (100%)、JEITA 規格による測定です。

^{※5} インサイドホン (市販：推奨インピーダンス 16 Ω) の再生時間は目安です。

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、[®]マークは一部明記していません。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。
- インサイドホン（市販）を本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。
本機の傷付きや破損につながります。
- インサイドホンと本機は別々にして収納してください。
- 本機に、雨水や水滴などがかかるないようにしてください。
- 本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。
強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。

(microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。) 非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合は、カードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。

■SD カードや本機を廃棄 / 謾渡するときのお願い

内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。

セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときには、電池を取り出す
- 煙が出たり、異常なにおいや音がある
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体が破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●電源を切り、販売店にご相談ください。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



単4形電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

- ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



乗り物を運転中に操作しない
事故の原因になります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 警告



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、インサイドホンを使わない

事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。



分解禁止

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。

火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシングカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。



インサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

- 音量は少しづつ上げてご使用ください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



長期間使わないとときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ
ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな!?」(P21~24)
でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と右
の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、このICレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知させていただけます。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック お客様ご相談センター 365日
受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル  0120-878-365

パナは 365日

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「130#」を押してください。

(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用 06-6907-1187 ■FAX
いただけない場合 フリーダイヤル  0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー ダイヤル  0120-878-554

パナは イイヨ

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

その他

保証とアフターサービス（続き）

■ 各地域の修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道 地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稻村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
首都圏 地区	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塙入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中瀬4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
中国地区	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
四国地区	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
九州地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

さくいん

アルファベット

A-B リピート再生	15
DATA フォルダ	19
EQ (イコライザー)	16
LED (録音 / 動作表示ランプ)	18
LINE フォルダ	19, 21
Low Cut フィルタ	9
MIC フォルダ	19 ~ 21
microSD カード	16, 26
MP3	17
MUSIC フォルダ	17, 19 ~ 21
NC (ノイズキャンセル)	16
PCM	2, 17, 19
SD カード	16, 26
SLC (音声レベル自動調整)	16
USB 端子	2, 19
VOS	10
WAV	17, 19

あ行

インサイドホン	12
インデックス	13
オートパワーオフ	4
遅聞き	14
音楽フォルダ	6, 17, 21
音声ガイド	18
音量	7

か行

外部マイク	11
画面表示	5
繰り返し再生 (リピート)	14
現在時刻	7

さ行

サーチ	7
再生	7
再生速度	14
時間指定サーチ	14
シャドーイング再生	15, 24
集音機能	13
消去	8
スキップ (とび越し)	7, 13

総再生時間	7
操作音	18

た行

タイマー録音	10
テレホン用マイク	11
電池	4
電池残量	4
電池持続時間	25
時計設定	5

は行

パソコン動作環境	20
早聞き	14
早戻し / 早送り	7
ファイル	6, 7
ファイル分割	18
ファイル名	20
フォーマット	18
フォルダ	6, 19
フォルダ頭出し	17
フォルダ構造	21
復習ポイント	13
ホールド機能	4

ま行

マイク / ライン感度	9
マイク / ライン切り替え	11
マイクフォルダ	6, 19
マイクポジション	6
メモリー	25
モニター	12

ら行

ラインフォルダ	6, 12, 19
レベルメーター	5, 7, 12
録音	6, 7
録音シーン	8
録音時刻	7, 20
録音スタンバイ	12
録音残り時間	7
録音日	7
録音モード	9

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塗害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

*お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

*保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

*This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品 番	RR-XS355		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
* お買 い上 げ日	年	月	日
* お 客 様	ご住所		
	お名前		
	電 話 () —		
* 販 売 店	住所・販売店名		
	電話 () —		

見本

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を
廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲
などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利
者に無断で使用できません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使
用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン
受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013-2014